

問1 日本の都道府県別の統計において、年間の日照時間が2000時間を超えて長いにもかかわらず、住宅用太陽光発電機器の設置数が5万件未満と、日照時間に比例せず少なくなっている地域があります。このように、日照条件が良いにもかかわらず設置数が伸び悩む主な要因として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため | 2. 土地の価格が安く、個人住宅よりも大規模なメガソーラーの建設が優先されているため | 3. 製造業が盛んな地域であり、家庭用よりも工場向けの電力供給が優先されているため | 4. 平地が少なく山地が多いため、住宅の日当たりを確保することが困難であるため |
|--|--|---|---|

問2 茨城県は野菜の産出額が全国でもトップクラスですが、その背景として、東京などの大都市に近い立地を活かし、新鮮さが求められる農産物を生産して速やかに出荷する農業が行われています。このような農業形態を何といいますか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 促成栽培 | 3. 抑制栽培 | 4. 適地適作 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 茨城県や千葉県、群馬県などの関東地方の各県で行われている農業は、東京都という巨大な消費地に隣接または近接している利点を活かしています。この地域で行われる農業が、遠方の産地と比較して経営面で有利であるとされる主な理由として、最も適切な説明はどれか。（2026年 福島公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。 | 2. ビニールハウスや温室などの施設を利用することで、自然の条件よりも早い時期に収穫し、品薄な時期に高値で販売できる点。 | 3. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かして、他の産地の出荷が終わった夏から秋にかけて野菜を出荷できる点。 | 4. 広大な土地を利用して、機械化を大規模に進めることで、小麦や大豆などの穀物を低コストで大量に生産できる点。 |
|--|--|--|---|

問4 大都市の人口動態において、常住する夜間人口に対する昼間人口の割合を示す「昼間人口比率」が100%を超える地域が見られる。このように昼間人口の方が多くなる主な理由として、最も適切なものはどれか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 周辺地域から通勤や通学のために多くの人々が流入するため | 2. 都心部の地価が高騰し、夜間に居住する人口が急増したため | 3. 郊外のニュータウンから中心部へ向かって、定年退職者が移住するため | 4. 昼間に中心部から周辺地域へ向かって、働き盛りの世代が流出するため |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問5 北関東の産業の特色について述べた次の文のうち、交通網の発達と地理的条件の関係として正しいものはどれですか。（2024年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている | 2. 沿岸部の港湾を拡大させることで大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが建設され、内陸部では伝統的な絹織物業が再興した | 3. 高速道路が開通したことで内陸部の工場は沿岸部へと移転し、空いた土地を利用して大規模な稲作が行われるようになった | 4. 鉄道網の拡充によって都市部への通勤が容易になったため、工場や農地は姿を消し、地域全体が住宅都市へと変貌した |
|---|--|--|--|

問6 北陸新幹線を利用して東京都から埼玉県を経て長野県方面へ向かう場合、埼玉県の次に通過する、関東地方北西部の内陸県が行っている取り組みや特徴として適切なものはどれですか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 前橋市を県庁所在地とし、内陸の立地を活かした工業や交通網を整備している。 | 2. 水戸市を県庁所在地とし、東側で太平洋に広く面している。 | 3. 宇都宮市を県庁所在地とし、東北新幹線の沿線に位置している。 | 4. 甲府市を県庁所在地とし、関東地方ではなく中部地方に属している。 |
|---|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|

問7 関東地方のある県は、製造品出荷額において石油・石炭製品が約26%、化学工業が約23%を占めており、これら2つの産業で全体の約半分に達しています。京葉工業地域の中核を担うこの県として正しいものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 東京都 | 2. 神奈川県 | 3. 埼玉県 | 4. 千葉県 |
|--------|---------|--------|--------|

問8 千葉港の貿易の特徴について、2021年の統計データ（総輸入額は約3兆4133億円）に基づいた背景を説明したものとして、正しい記述はどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 輸入額の5割以上を占める石油は、主に京葉工業地域の製油所などで消費・加工されている。 | 2. 輸出額の上位2品目である石油製品と鉄鋼を合わせても、輸出全体の1割に満たない状況である。 | 3. 千葉港の総輸入額の大部分は、成田国際空港における貿易額が合算されたものである。 | 4. 石油や鉄鋼の輸出入が盛んであるのは、千葉港が日本最大のコンテナターミナルを有しているからである。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため	太陽光発電の設置数は通常、日照時間の長さ按比例して増加する傾向がありますが、神奈川県などの大都市圏では特有の事情が見られます。これらの地域は人口密度が極めて高く、持ち家の一戸建てよりも集合住宅や借家住まいの世帯比率が高いため、個々の住宅への太陽光パネル設置が物理的・権利的に難しく、日照条件の良さが設置数に直結しにくい構造になっています。
問2	答え 1 近郊農業	大都市の周辺で、交通網の発達を利用して野菜や花きなどを生産し、鮮度が高い状態で消費地へ届ける農業を近郊農業と呼びます。茨城県は、常磐自動車道などの高速道路網を活用することで、収穫から短時間で市場へ輸送できる地理的優位性を持っており、これが野菜や畜産の高い産出額を支える要因となっています。
問3	答え 1 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。	近郊農業の最大のメリットは「輸送コストの低減」と「鮮度の維持」です。宮崎県や高知県で行われる促成栽培や、長野県などの高冷地で行われる抑制栽培は、時期をずらすことで高値を狙いますが、近郊農業は市場への近さを武器に、物流の効率性と新鮮さで競争力を確保しています。
問4	答え 1 周辺地域から通勤や通学のために多くの人々が流入するため	東京都や大阪府などの大都市部には、官公庁、企業のオフィス、大学などの教育機関が集中している。そのため、居住地である周辺の県から、日中に仕事や学業のために多くの人々が移動してくる。この「流入」によって、夜間に住んでいる人数よりも日中に滞在する人数の方が多くなり、昼間人口比率が100%を超えることになる。逆に、周辺の県は居住機能を中心となるため、比率が100%を下回ることが多い。
問5	答え 1 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている	北関東工業地域は、高速道路のインターチェンジ付近に工業団地が形成されているのが特徴で、特に自動車工業などの機械工業が盛んです。農業においても、交通網の整備は重要であり、婦恋村などに代表される標高の高い「高冷地」で夏に生産される高原野菜を、トラック輸送で首都圏へ迅速に出荷する体制が整えられています。港湾施設の拡大は、京浜工業地帯や鹿島臨海工業地帯などの沿岸部の特徴であるため、内陸部を中心とした設問の文脈には適しません。
問6	答え 1 前橋市を県庁所在地とし、内陸の立地を活かした工業や交通網を整備している。	東京都・埼玉県から長野県へと向かうルート上に位置する県は群馬県です。群馬県は海に面していない内陸県であり、県庁所在地は前橋市です。古くから交通の分岐点として発展し、現在も北陸新幹線や高速道路などの交通網が整備され、製造業などの工業も盛んです。
問7	答え 4 千葉県	千葉県は東京湾沿いの埋立地を中心に、石油コンビナートや化学工場が集積しており、京葉工業地域を形成しています。そのため、全国と比較しても石油・石炭製品や化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。一方で、神奈川県は京浜工業地帯に属し輸送用機械が盛んであるなど、県によって産業構造が大きく異なります。
問8	答え 1 輸入額の5割以上を占める石油は、主に京葉工業地域の製油所などで消費・加工されている。	千葉港の輸入額の54.5%を占める石油は、港の背後に広がる京葉工業地域の石油コンビナートや製油所で原料として使用されます。そこで精製・生産された石油製品や鉄鋼が、再び千葉港から輸出されるという因果関係があります。なお、成田国際空港の貿易額は通常、空港の統計として個別に扱われるため、港湾の統計と混同しないよう注意が必要です。